

整形外科

【当科の特性】

積極的に救急患者を受け入れ、救急・外傷医療に力を入れる一方、関節・脊椎外科などの慢性疾患の治療も行う。

赤十字病院として、DMAT や 院内組織救護班の一員として従事する。

【研修について】

各種整形外科疾患について、診断・治療決定の過程を学び、必要な検査・処置・初期治療を研修する。

【研修の到達目標】

適切な問診と、整形外科の基本的診察法を学ぶ。

各種整形外科検査法を知る。

整形外科的な画像診断を修得する。

収集した情報に基づき診断し、治療方針をたてる。

保存治療と手術治療を比較し、個々の症例に対する最善の治療を選ぶ。

救急外来において外傷例の初期治療を学ぶ。

【注意事項】

清潔な服装、礼節を保ったコミュニケーション、個人情報の管理や守秘義務に十分に留意する。

実習初日の集合時間及び集合場所は、実習前週に「もみじの掲示版」で広島大学学生支援グループから通知するため、確認すること。

以後の集合時間及び集合場所については、各診療科指導医の指示を仰ぐこと。

【実習の内容】

月・水・金曜の午前中は、主に外来診療や救急外来対応の見学を行い、診察・検査・画像等について研修を行う。

水・金曜午後は、各種整形外科検査の見学や各自の病棟回診を行う。

火・木曜は、終日手術の見学を行い、必要に応じて手洗い実習をする。

木曜手術終了後、手術予定症例の術前検討会に参加し、診断・治療方法の選択

広島赤十字・原爆病院

について学ぶ。

救急車による搬送があった場合、適宜救急外来で初期治療を見学し、治療に参加する。

【指導体制】

整形外科医師 10 名が分担して指導にあたる。

【評価】

医療者としての態度・行動内容、整形外科疾患に対する理解、カンファレンスにおけるプレゼンテーションなどを総合的に判断して評価する。